今月のオレが甘かった

アニキの横顔

鋭い…鋭すぎるよ、その瞳「オレはリボンなんざつけねぇ」

■京都駅近くの某ペットショップ前

ペットショップ前にたたずむアニキ。眼光するどく見つめられれば、とりあえず謝っておこうかという気にさせる。店内は、やはりアニキのような誇り高き仲間たちが集うのか？

「ペット→家族」「エサ→お食事」と、その周辺における呼び名までことごとく変えてきた昨今のお犬さまたち。人間のエゴばかりかと思いきや、本人（本犬）たちだって着飾るわ、専用のケーキは食うわで、「だってオイシイ思いできるやん」と言わんばかり。が、しかし！このアニキを見るがいい。この孤独な横顔、鋭角過ぎる瞳、「人間なんかに従属してなるものかッ」っちゅう彼のソウルフルな叫びが聞こえないようだったら、アンタ、もうイヌじゃないよ…完全にヒトだよ…。

ラブリー&メルヘン通り？

エンジェルが飛び交う横丁？その名は、「天使突抜通」

通り名の由来は、昔「天使社」と呼ばれていた五条天神社を突き抜けるかたちで通りを走らせたからで、エンジェルとは無関係。が、それでも自分の住所が「天使突抜〇丁目」だったら間違いなくメルヘン

■天使突抜通（東中筋通）西洞院通と油小路通の間、仏光寺通～木津屋通間

京都には変わった通り名もわんさかありますゆえ、それでオレ甘隊員が動くことは滅多にない。が、こんなラブリーな通り名をこれ以上シカトするのも女子としてど～よ？てなわけで「天使を探しに行ってきます☆」と、メルヘンかつ薄気味悪いメモを残して、ハイ、出動。で、ウロウロしたものの、ハートの矢じりの矢＆弓を持ったあのエンジェルの気配なし。実物はおろか、近くの商店街のマスコットでもなし。むむ。もしや、あたいのメルヘン出し損だったんじゃ…。

I am a みやげマニア!!

100年後にも残したい京都おみやげファイル

同志社大学の「オリジナルチョコレート」

あの有名メーカーに協力を仰ぎ大学オリジナルチョコ発売中

「キリスト教の大学なのに、オリジナル食品がせんべいだけとはいかがなものか」と、そのイメージ上の微妙なちぐはぐ感を解消すべく、発売されたチョコレート。年間1000個以上の売上に加えて、バレンタインシーズンはそれこそ飛ぶように売れるという、オリジナルグッズとしては例を見ないほどの売れっぷり。その学舎といい、食堂といい、何かとオシャレさんな同大とはいえ、オリジナルグッズにも力を入れているとは。いやはや、大学も変わりましたなぁ…。

言わずと知れた菓子メーカーのメリーズチョコに、同大のエンブレムが入っている。6個入り525円

■同志社生活協同組合
弘風館ショップ
どうししゃせいかつきょうどうくみあいこうふうかんショップ
京都市上京区今出川通烏丸東入（同志社大学内）
☎075・251・4431

人生を左右する!?墓石で妄想

すべては先祖のお墓次第…もしやそのアンラッキーも？

お墓。どれだけ明るめに発したとしても、一抹のダークさは否めないこの単語。個人的には、夏休みの真っ昼間から釘付けだった「あなたの知らない世界」を連想するのだが、まぁ、あちらから歩み寄ってくるモンでもなし…とタカをくくっていたオイラにも、ついに出会いは訪れた。「家運も金運もお墓次第」。ハッ！もしや恋愛運も!?このパッとしない異性遍歴も、もしや田舎のじーちゃんの墓のせいなのか。齢20代にして、墓相談を本気で視野に入れたある日の風景。

実はこんな茶目っ気たっぷりのお仏壇なんかもつくっている「お墓のコンサルタント」やさん

■大宮高辻付近にて遭遇

看板を前に立ちつくす横を、次々と人が通り過ぎる。どうして、みんなそんなに素無視できるのか？もしやオイラ以外はみんなハッピーなのか…

林的映画三昧

イラストと文 ハヤシチサコ

ハヤシチサコ・無類の映画好きのイラストレーターにしてグラフィックデザイナー。
「Club Fame」時代には、彼女のデザインが表紙を飾ったこともアリ。編集部の熱望により本誌への登場と相成った。